

第 35 号

花だより

平成 29 年 2 月

安佐南区
花いっぱい運動

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【推進委員会事務局】



【祇園西支部】 報告者：櫻井 孝子
スイセンの育て方

1月の大雪で、区役所の花壇もすっぽりと雪に覆われてしまいました。なかなか雪が解けず心配でしたが、葉牡丹やキンセンカ、サクラソウなど元気いっぱいに咲いています。冬は花が少なく寂しい季節ですが、こうして花壇を彩ってくれるのはうれしいですね。

区役所の花壇は、「花いっぱい運動推進委員会」の支部員の皆さんが種から育てた手作り花壇です。区役所を訪れた際には、是非ご覧になってください！



【キンセンカ】



【サクラソウ】

安川緑道にも日本水仙が咲いています。

今の花壇の花は、パンジー、ビオラ、キンセンカ、葉牡丹くらいです。

そのような中でも日本水仙は花のない冬に咲き始め香りとともに春を感じさせてくれます。そこで、スイセンの扱い方を紹介します。

スイセンの園芸種は一万を超えるといわれています。ほかの植物とも合わせやすく、庭でも寄せ植えでも楽しめます。花の後の球根は栄養を使い切った状態です。そこで花が終わったらすぐお礼肥を施します。肥料は光合成を促すカリ分の多い緩効性化学肥料がお勧めです。庭植えは1回、鉢植えは月1～3回が目安です。花の後に葉が勢い良く伸びてきますが、光合成をして球根に養分を蓄えているので自然に枯れて黄色くなるまで葉は大切に残しておきます。4年以上たったら彫り上げて植え替えましょう。時期は6月で、その後ネットに入れて風通しの良い冷暗所に保管し、9～10月に植えます。鉢植えの球根は毎年掘りあげます。時期は庭植えと同じです。ただし、植えつけ時には土が2～3センチかかる程度の浅植えにし、根の張るスペースを確保します。(『趣味の園芸』参考)

4月から、各支部で「花づくり講座」が始まります。興味のある方はぜひ参加してください。



【スイセン】

【安東支部】 報告者 :上長者 辰雄

梅の名所「八木梅林」「西風梅苑」の梅の見頃は？

一月は「行く」、二月は「逃げる」、三月は「去る」と言われているように月日が経つのを早く感じる今日この頃です。寒い日が続きますが、まもなく立春、暦のうえでは春になります。過日、早朝ウオーキング中、緑井三丁目の田んぼの土手で小さな落の臺を見つけ、春は確実に近づいていると実感しました。ところで、春に咲く多くの花々に先駆けて自然界で咲く梅の花は、昔から人々の心をとらえてきました。



【落の臺】

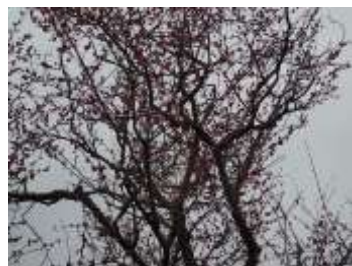
「梅一輪一輪ほどの 暖かさ」
この句は、服部嵐雪が読んだ有名な俳句です。「梅のつぼみが一輪ほころび、また一輪ほころび、それにつれて少しずつ暖かくなってくる。」と解せば、まさに今の季節に読んだものと推察されます。梅は、桜などに比べ休眠が浅いため、天候によって開花時期が左右されます。昨年広島市の梅の開花日は、2月1日でしたが、今年は、寒い日が多かったため、



【八木梅林の梅】

開花日が遅れるようです。安佐南区内には八木梅林と新しい西風梅苑の二つの梅の名所があります。
八木梅林では、本年、梅の樹がせん定されており、例年に比べ蕾が少ないようですが、ほころびはじめています。梅の花はなくても、梅の樹は、観て楽しむことができます。3月5日(日)、八木梅林公園で「春こい祭」が開催されます。

一方、西風梅苑は、樹齢100年以上の樹を含む紅梅、白梅約200本の樹に沢山の蕾をつけ、外から見た感じですが二分咲きの状態です。西風梅苑の今年の一般公開は見頃となる2月25日(土)～3月12日(日)の予定です。一般公開の頃には、清雅で香り高い梅の花や味わいのある梅の樹を鑑賞できるでしょう。



【西風梅苑の梅】

【沼田支部】 報告者 :谷口 好子

花壇を彩るゴデチャ

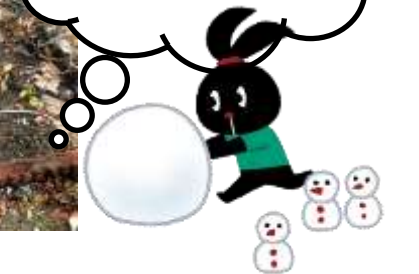
今年もゴデチャの花を植えました。

昨年5月から6月にかけて豪華でひととき存在感のある花、ゴデチャが咲き、地域の方々を楽しませてくれました。

そのゴデチャの花を今年をもっとも増やしたいと思い、種を蒔いたところ、たくさんの苗ができましたので、地域の方々にもおすそ分けして植えていただきました。



種を蒔いて、苗ができました。先日の雪がまだ少し残っています…



少し大きくなりました。花が咲くのが楽しみです！



5月になると花を咲かせ、皆さんの笑顔の花も咲くでしょう。楽しみです。

